

横浜市立四季の森小学校 平成30年度 豊かな心の育成推進プラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
○一人ひとりの思いや願いなどを丁寧に受け止め子どもに寄り添いながら、温かな人間関係を育てていきます。
○家庭や地域・幼保小中と連携し、保護者がわが子を通わせたいと願い、子どもが心から明日も来たいと願う学校づくりを目指します。
○問題解決学習に取り組み共に学ぶ楽しさを実感しながら基礎的な学力を身につけられるよう、授業力の向上を目指します。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	人やものとの豊かなかわりや多様な体験活動を通して、豊かな心と規範意識・物事の善悪をきちんと判断し人権を尊重する心を育てます。	①年間を通して仲良し班遊びの時間を設定し縦割り班活動を通し異学年間のつながりを築く。交流活動を通して関わり合いを大切にす。②挨拶を年間通して学年に応じて指導するとともに児童自身の取り組みとして活動する。③小中協力して人権研修の場を設け、規範意識・物事の善悪を判断し人権を尊重する心を育てる。
担当	人権教育 道德 特活部	

2 児童の実態

本校の児童は、素直で人なつっこく学年を問わず、誰とでも仲良くしている。また、多くの地域の人たちから見守られている。さらに、大小様々な公園が学区に多数あり、のびのびと過ごすことができる。

その反面、自己認識が甘く、自分の思いを表現することが苦手で、コミュニケーション能力が不足している。道徳的価値は知っているが、実践できていない面や集団でのまとまりが弱い面がある。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【指針1】「道徳の時間」の充実

- ◎ 道徳の時間の指導を通して、子どもが道徳的見方・考え方・感じ方ができるようにする。【視点1】
- ・本校児童の実態を踏まえ、今年度は、重点研究としても道徳を取り上げていく。道徳の授業の中で、自分の思い、考えを言える児童の育成を目指し、語り合う道徳の授業を目指していく。
 - ・本年度より、道徳の教科化の実施に伴い、外部より講師を招き、道徳のより良い指導の在り方、児童の見取り方、評価など職員研修を行い、ブラッシュアップしていく。
 - ・本校の別葉の検証を行う。
 - ・全学級の道徳授業公開を年一回以上実施し、保護者にアピールしていく。
 - ・児童の豊かな心の育成は、道徳の授業だけでなく、道徳で学んだことを各教科・領域、学校教育全体でいかしていけるよう指導していく。
 - ・特に、人とのかかわり合いの中での挨拶を、本校では大事にしていきたいと考え、年間を通して、挨拶指導を行っていく。

【指針2】体験学習の充実

- ◎年間を通してなかよし班遊びの時間を設定し縦割り班活動を通し異学年間のつながりを築く。交流活動を通して関わり合いを大切にする。【視点3】

【指針3】確かな人権感覚・意識の育成

- ◎日本の伝統や文化を尊重するとともに、他の国の人々や文化を理解、尊重する姿勢を身につけるようにします。【視点9】
- ・横浜国際スピーチコンテストに6年生が取り組み、成果を全校に向けて発信します。

【指針4】豊かな感性や情操の育成

- ◎読書活動を充実させ、主体的に読書に親しむ習慣を身につけ、言葉を学び、表現力や豊かな感性を身に付けるようにします。【視点11】
- ・「朝読書」の時間を設定し、読書活動の充実を図ります。
 - ・「はまっ子読書ノート」を積極的に活用します。
 - ・全校一斉読書を行います。
 - ・図書ボランティア（保護者）による、読み聞かせを行います。